

tpc.

TPCマーケティングリサーチ株式会社
〒550-0013 大阪府大阪市西区新町2-4-2 なにわ筋SIAビル8F

TPC 広報室 Communication Magazine

Vol. 15

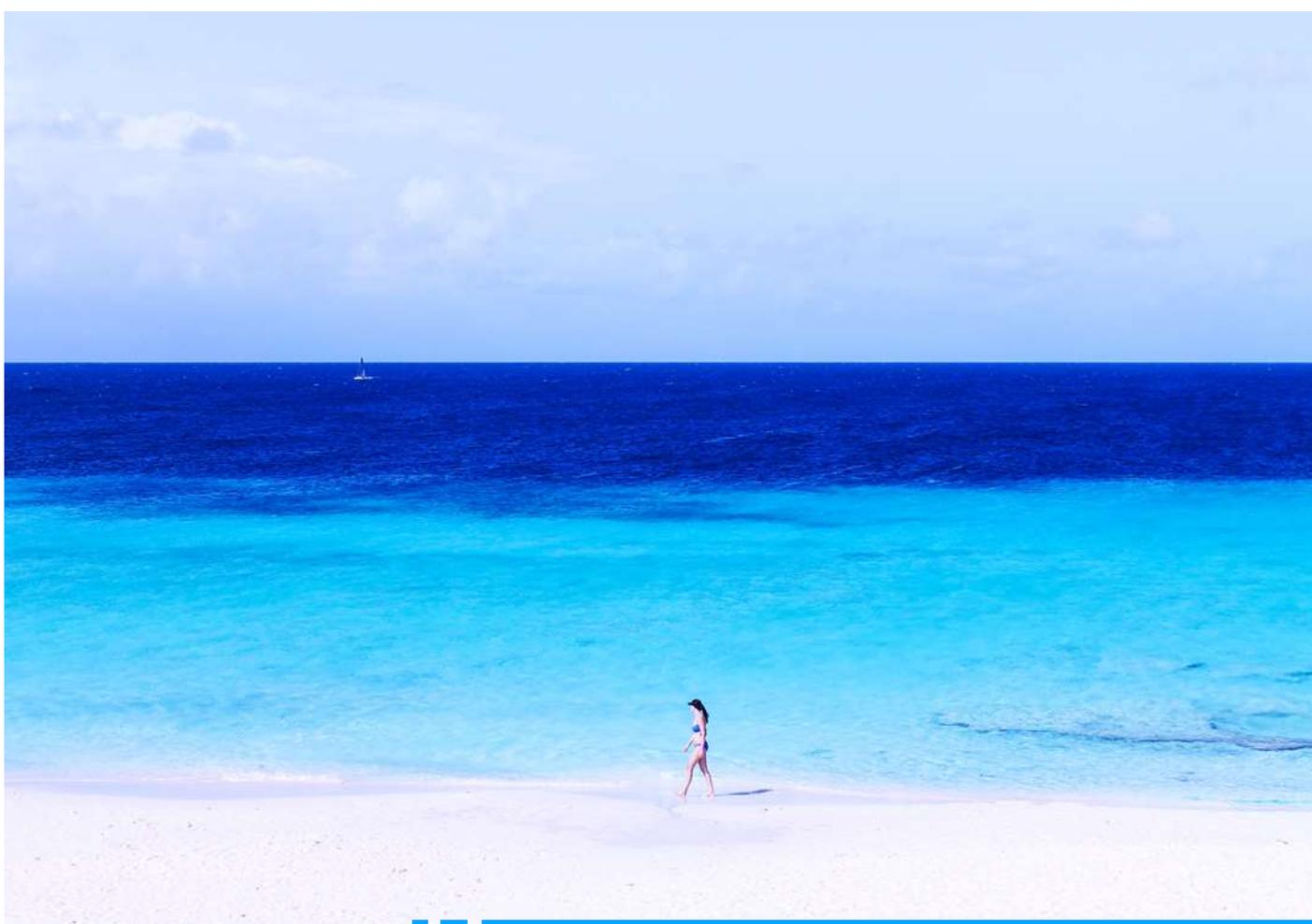
2017.8

TEL 06-6538-5358

FAX 06-6538-6531

H P <http://www.tpc-cop.co.jp/>

MAIL webmarke@tpc-osaka.com



Index

01 デリバリーLunch!! ～CoCo壱番屋編～

02 中南米の農薬市場に見えた“回復の兆し”

03 既刊資料閲覧会 10月に開催決定!

05 Photo Library

06 TPC Marketer's

07 編集後記



TPCでは、毎週金曜日に、希望者を募ってランチを食べに出かけたり、ランチのデリバリーを頼んでいます。

今回は、「CoCo壱番屋」でカレーライスをデリバリー注文した時の様子をレポートします!

今回は「CoCo壱番屋編」ということで、カレーライスをデリバリーしてもらいました!

暑い時期ですが、こういう時期だからこそ辛くて熱いカレーライスが食べたい!と感じることもありますよね。

注文時には、ライスの量やカレーソースの辛さ、トッピングだけでなく、なんとサイドメニューも選べ、その自由度の高さに感動しました。

ということで、トッピングのから揚げや半熟タマゴ・サイドメニ

ューのコロッケなど、それぞれが好きなものを選び、デリバリーしてもらうことができました。

当日は皆で集まって食べたのですが、隣の部屋までカレーライスのいい香りがしていたのかなんとか…(笑)

実は、デリバリーランチの注文は今回で3回目ですが、普段外食の人も参加し、参加人数は最多の13人となりました。大人数のため食事の会話も弾み、とても楽しかったです。

次はピザや中華が食べたい、といった声も上がっていました。



中南米の農薬市場に見えた”回復の兆し”

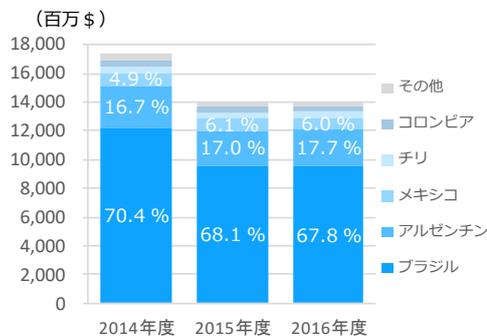
注目を集める有力市場、中南米地域で起こっている「なぜ？」に迫る

市場全体の約3割を占め、有力市場として農業業界で注目を集める中南米地域。実はブラジルなどで起こった通貨・穀物相場下落が影響し、市場規模の縮小が続いているにもかかわらず、主要企業の中南米展開は衰えていないのです。

これはいったい「なぜ？」なのでしょう。弊社が6月に発刊したレポート「2017年 中南米の農薬市場動向分析調査」に掲載されているデータを確認してみましょう。

ブラジルの縮小幅が緩やかに！
市場規模は回復傾向

前述の通り、様々な要因が重なったことで、中南米の市場規模は2015年に縮小しています。



しかしグラフをよく見ると、大きく変動があったブラジルの縮小幅は、2016年度には緩やかなものへ。他の国の市場も安定していることがわかります。中でもアルゼンチンに関しては、政策による農作物の輸出強化で、作付面積が拡大したことが要因となり農薬の需要が増加しているそうです。

“変革”により市場が活性化！
アルゼンチンは順調な回復基調へ

先程、農業需要が拡大しているご紹介したアルゼンチンですが、既に回復傾向にあります。下のグラフを見ていただくと分かるように、農薬市場規模は2015年に2桁減と大きく縮小したものの、翌年の2016年には前年比4.2%増となりました。

同国は、2015年末に就任したマクリ大統領による“変革”が奏功したことなどが大きな要因となり、徐々に市場が持ち直しているようです。



市場回復からさらなる拡大の予想も
今後の農薬市場を要チェック！

ここまで見てきた中南米の農薬市場ですが、縮小の要因が一時的なものであるという見方が強く、中長期的に見て回復が期待されています。中には、2017年に前年の規模を上回ると予想されている国もありました。

掲載しているグラフは、コラム用に情報のある程度簡略化しておりますが、詳細なデータは「2017年中南米の農薬市場動向分析調査」レポートにすべて掲載されております。

ご試読も受け付けておりますので、興味を持っていただけましたら是非一度ご検討ください。

参考レポート

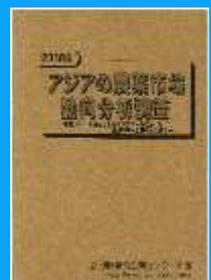
2017年6月16日発刊



2017年
中南米の農薬市場
動向分析調査
87,000円+税

関連レポート

2016年2月12日発刊



2016年
アジアの農薬市場
動向分析調査
87,000円+税

2017.10.24 TOKYO
TPCマーケティングセミナー
2017.10.12~13 OSAKA
TPCマーケティングレポート
閲覧会
開催決定!

セミナーへのご参加・閲覧会
に関するご質問など、
お気軽にお問合せください。



TPCマーケティングリサーチ株式会社

0120-30-6531

各イベント詳細は次号公開!

Photo Library



Webマーケが撮影した
今月の1枚をご紹介します



先月21日にカフェ・ド・クリエから登場した「ソルベージュ エクストラミントチョコ」。チョコミント好きとして、これを飲みに行かない理由がない！ということで、友人とお店に行ってきました。

気になるお味なのですが、思ったよりもミントとチョコの風味が感じられなかったため、チョコミントのさわやかな味が大好き！という方には少し物足りないかも？

細かな氷が沢山入っていて、今年の暑い夏を乗り切るにはぴったりです。

Check! ヘアケア、ヘアカラー、ヘアメイク、育毛商品の各分野を調査し、主要各社の商品動向やマーケットを分析！

TPC Marketer's

2017年7月18日に発刊した頭髪化粧品市場の調査レポートについて、調査担当者をご紹介します。資料の概要や調査項目は、弊社WEBサイトでご確認いただけます！

TPC ビブリオテック

検索

2017年

頭髪化粧品の市場分析調査

“ボタニカル”がヒット：新たなカテゴリーの確立となるか

同レポートは、一般消費者向けの頭髪化粧品（ヘアケア、ヘアカラー、ヘアメイク、育毛商品、パーマ剤）についてまとめております。

同市場は2010年以降、“ノンシリコンシャンプー”や“オイルシャンプー”などのブームが寄与して、微増ながらも拡大が続いています。

2016年度は、前年度比1.3%増の4,602億円で推

移。植物の力を引き出す“ボタニカル”を謳ったブランドが躍進し、市場の拡大に貢献しています。

同レポートでは、分野別の市場分析や商品動向、参入企業の開発経緯や今後の展開などをまとめておりますので、ぜひお気軽にご覧ください。



菊住 真希

Maki Kikuzumi

2014年入社。
入社以来、第2マーケティンググループにて、オーガニックコスメや頭髪化粧品など、化粧品分野の市場調査を担当している。



2017年
頭髪化粧品の市場分析調査

発刊日:2017年7月18日
頒価:87,000円+税



2017年
オーガニック・ナチュラルコスメの
市場分析調査

発刊日:2017年4月10日
頒価:87,000円+税

編集後記

連日30℃を超える猛暑が続く中、汗かきで体力のない私は既に半分くらい干乾びておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。アイスクリームや冷たい麦茶、エアコンもしくは扇風機、保冷剤に至るまで、本当に色々な「冷たいもの」「涼しいもの」が手放せない季節です。

しかし、夏もそう嫌なことばかりではありません。プールや海水浴へ出かけたり、お祭りを見に行ったりと、この時期にしか楽しめないイベントが沢山ありますね！

さて来月号は、3面にも掲載していますが“TPCマーケティングセミナー”と“TPCマーケティングレポート閲覧会”がついに開催決定！気になる会場や時間、内容などの情報をお伝えします。



企画・編集

TPCマーケティングリサーチ株式会社
〒550-0013 大阪府大阪市西区新町2-4-2 なにわ筋SIAビル8F

TEL 06-6538-5358
FAX 06-6538-6531

HP <http://www.tpc-cop.co.jp/>
MAIL webmarke@tpc-osaka.com